

# 【家庭総合(家総701)】内容のまとめりごとの評価規準例

※内容により、同じ評価の観点重複して複数箇所に入っている場合があります。

単元名	項目名	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭科の学び方 巻頭・各章末 ホームプロジェクト と学校家庭クラブ 活動	家庭科の学び方	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	生活に生かそう			
第1章 生涯を見通す	1 人生を展望する	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 目標を持って生きる	・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。	・生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第2章 人生をつくる	1 人生をつくる	・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 ・青年期の課題である自立について理解を深めている。 ・意思決定の重要性について理解を深めている。		・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 家族・家庭を見つめる	・家族・家庭の機能と家族関係について理解している。 ・家族・家庭と法律について理解している。 ・家族・家庭の意義について理解を深めている。	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	3 これからの家庭生活と社会	・男女の平等と協力について理解を深めている。 ・家庭生活と福祉などについて理解している。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 ・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第3章 子どもと共に育つ	1 命を育む	・青年期の課題である自立について理解を深めている。 ・親の役割と保育について理解を深めている。		・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 子どもの育つ力を知る	・乳幼児期の心身の発達と生活について理解を深めている。 ・子供の遊びと文化について理解を深めている。		
	3 子どもと関わる	・親の役割と保育について理解を深めている。		
	4 子どもとの触れ合いから学ぶ	・子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。	・子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	5 これからの保育環境	・子育て支援について理解を深めている。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。	・子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第4章 超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会の到来	・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。		・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 高齢期の心身の特徴	・高齢期の心身の特徴について理解を深めている。		
	3 高齢者の自立を支える	・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深めている。 ・高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けている。	・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	4 これからの超高齢社会	・高齢者福祉について理解を深めている。	・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第5章 共に生き、共に支える	1 私たちの生活と福祉	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・家庭と地域との関わりについて理解している。	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2 社会保障の考え方	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。		
	3 共に生きる	・高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深めている。	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	

## 【家庭総合(家総701)】内容のまとめりごとの評価規準例

※内容により、同じ評価の観点重複して複数箇所に入っている場合があります。

単元名	項目名	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第6章 食生活をつくる	1 食生活の課題について考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活を取り巻く課題など、食と人との関わりについて理解している。</li> <li>ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>
	2 食事と栄養・食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴について理解している。</li> <li>ライフステージの特徴や課題に着目し、食品の栄養的特質について理解している。</li> <li>食品の調理上の性質について科学的に理解している。</li> </ul>		
	3 食品の選択と安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活について理解している。</li> <li>食の安全と衛生など、食と人との関わりについて理解している。</li> <li>食品衛生について科学的に理解している。</li> </ul>		
	4 生涯の健康を見通した食事計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活について理解している。</li> <li>自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
	5 調理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>おいしさの構成要素について科学的に理解している。</li> <li>目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</li> </ul>		
	6 食生活の文化と知恵	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に食生活を営むことができるよう日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
	7 これからの食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活を取り巻く課題など、食と人との関わりについて理解している。</li> <li>ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	

# 【家庭総合(家総701)】内容のまとめごとの評価規準例

※内容により、同じ評価の観点重複して複数箇所に入っている場合があります。

単元名	項目名	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第7章 衣生活をつくる	1被服の役割を考える	・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解している。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2被服を入手する	・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料について科学的に理解している。 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。		
	3被服を管理する	・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服衛生について科学的に理解している。 ・被服管理について科学的に理解している。 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。		
	4被服を作る	・被服構成について科学的に理解している。 ・被服製作について科学的に理解している。 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。		
	5衣生活の文化と知恵	・日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。	・主体的に衣生活を営むことができるよう日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	6これからの衣生活	・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第8章 住生活をつくる	1住生活の変遷と住居の機能	・住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴について科学的に理解している。	・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2安全で快適な住生活の計画	・ライフステージの特徴や課題に着目し、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。 ・住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。 ・快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。	・主体的に住生活を営むことができるよう防災などの安全に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	3住生活の文化と知恵	・日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。	・主体的に住生活を営むことができるよう日本の住文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	4これからの住生活	・住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。	・主体的に住生活を営むことができるよう環境に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第9章 経済生活を営む	1情報の収集・比較と意思決定	・消費生活の現状と課題について理解を深めている。 ・消費行動における意思決定について理解を深めている。		・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	2購入・支払いのルールと方法	・契約の重要性について理解を深めている。 ・消費者保護の仕組みについて理解を深めている。		
	3消費者の権利と責任	・責任ある消費の重要性について理解を深めている。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解している。	・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	4生涯の経済生活を見通す	・家計の構造について理解している。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解を深めている。	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	5家計をマネジメントする	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解を深めている。 ・リスク管理の考え方について理解を深めるとともに、情報の収集・整理が適切にできる。		
	6これからの経済生活	・生活における経済と社会との関わりについて理解を深めている。	・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
第10章	1持続可能な社会を目指して	・生活と環境との関わりについて理解している。 ・持続可能な消費について理解している。		・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会

## 【家庭総合(家総701)】内容のまとめりごとの評価規準例

※内容により、同じ評価の観点重複して複数箇所に入っている場合があります。

単元名	項目名	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第10章 持続可能な生活を営む	2一人一人の力で社会を動かす	・持続可能な社会へ参画することの意義について理解を深めている。	・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
第11章 これからの生活を創造する	1生活をデザインする	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。 ・生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。